



第22回手帳大賞で名言大賞を受賞

福島詩乃さん(堤根・40歳)

思わず手帳にメモしたくなる名言、あったらいいなと思っ商品企画を選定するコンテスト「手帳大賞(高橋書店主催)」。このたび、第22回手帳大賞の名言部門に2万18通の応募があり、その中で「明日また友達になる」という言葉で名言大賞を受賞したのが福島詩乃さんです。



を決定し、笑顔で布団に入った優寿さんの様子に安堵したそうです。昔から言葉で気持ちを表現することが好きで、川柳やキャッチコピーなどを考えては応募している福島さんは、手帳大賞の募集記事を目にした際、前述の優寿さんの発した言葉と勇気を思い出し「明日また友達になる」という言葉を応募。そして昨年10月、帝国ホテルで発表表彰式が行われ、見事「大賞」を受賞しました。「また、がついていることで、友達というものは心が擦れ違った後でも何度でもやり直せるという子どもの純粋な気持ちに素直に表現された、大人になってもそうでありたいと感じさせてくれる作品」という寸評に、福島さんは「私が伝えたかった言葉の内を、審査員の皆さんがちゃんと理解した上で評価してくださったと感じ、とてもうれしかったです」と振り返ります。そんな福島さんが子育てで一番大切にしているのは、子供たちと同じことを体験し、一緒に学び、同じ時間を心から楽しむこと。学校であつたことや、悩んでいることなど、子供たちと同じ目線で考え、共感し、解決していける自分を目指しているそうです。今後の目標をたずねると「遠い将来になるかもしれませんが、自身の体験を基にした児童文学やエッセーなどの投稿をしたい。私は過集中してしまうタイプなので、執筆は子育てが落ち着いたら、いつか」と照れながら語ってくれました。福島さんの経験と思いが詰まった作品が、たくさんの方の心に届く日を楽しみにしています。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

- 俳句
持田 岡本千寿子
美しく年を重ねて初鏡
谷郷 大谷 峯生
大鍋に愛情煮込む大根汁
富士見町 金井しづ子
身ほとりに影つきまとう暮の秋
西新町 澤田 信一
居住まいを少し崩して二日かな
城南 橋本千枝子
さびしさに馴れるほかなし冬の月
持田 丸山 麟一
冬瓜のたかが一つを持って余す
城西 榊原しづか
しばらくは犬の意のまま小春かな
谷郷 羽石 芳道
木道の足許ともす草紅葉
荒木 森田 静
数え日や母に届ける吊し柿
齋条 小林 英与
終活に一人悩みし日向ぼこ
(三沢 一水 監修)

はじめまして



平成30年3月生まれのお子さんを募集します

○1月4日(金)～31日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線322)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、2月4日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成30年1月生まれのおともだち ★★★



江森 結都ちゃん(下須戸)
平成30年1月30日生まれ
父・寛文さん 母・恵美さん
「のびのび元気に育ってね」



中川 裕貴ちゃん(駒形)
平成30年1月9日生まれ
父・正則さん 母・希和さん
「いつかまたお会いしたいね!」



石川 叶翔ちゃん(佐間)
平成30年1月5日生まれ
父・辰也さん 母・彩乃さん
「いつも幸せをありがとう♡」



堀井 優衣ちゃん(桜町)
平成30年1月1日生まれ
父・良一さん 母・麻友さん
「のびのび元気に育ってね☆」



市橋 由紀乃ちゃん(持田)
平成30年1月10日生まれ
父・孝之さん 母・佳代子さん
「にいと遊ぶの大好き♡」



猪股 果穂ちゃん(富士見町)
平成30年1月24日生まれ
父・旭さん 母・未佳さん
「すくすく元気に育ってね♡」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社 高橋

確かな品質と信頼で皇后陛下のスリッパも制作



会社プロフィール

代表取締役 高橋 英樹
【事業内容】室内履スリッパの製造・卸売り
【所在地】谷郷1-11-7

昭和28年に創業し、時代のニーズや流行を的確に捉え、スリッパの製造、販売において高い評価を得ているのが株式会社高橋です。
同社がもともと足袋問屋でしたが、世の中の生活スタイルの変化に対応すべく昭和30年代後半にオーストラリアの室内履を参考に現会長の高橋清さんが洗えるスリッパを考案。その新商品が新聞で紹介されるとたくさんのお客様が入り、今では年間約40万から50万足を熟練の職人が手作業で製造しています。

代表取締役の高橋英樹さんは「従業員一人一人の技術力がお客様から高い評価をいただいています」と笑みを浮かべ説明してくれました。また、25年以上続くもう一つのベストセラー商品が、学校などの上履きとして女性から人気を博している「お受験スリッパ」と呼ばれるヒール付きのスリッパです。この商品は軽くて履き心地が良く古くから下駄にも使われている「桐」を高さ4・5センチメートルのヒール部分に使用したもので、履いた時にスリッパが良く見え、デザインも優れていると多くの美意識の高い女性から支持されています。そうした中、同社の取り組みが取引先から評価され、皇后陛下のスリッパの制作を行うことになり、試行錯誤を重ねた末、至高の一品を作り上げることができました。また、ビジネスチャンスの拡大を図るため、インターネット上に「スリッパ通販専門店 楽DANE工房」を開設し、同社の商品PRと名入れできる業務用スリッパなどの販売を行い企業や学校、ホテルなどからの注文が増加しているそうです。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。